

港北区民生委員児童委員協議会広報紙

第23号



# ほほえみ

発行 横浜市港北区 民生委員協議会  
児童委員  
横浜市港北区大豆戸町26-1  
電話 045(540)2339  
FAX 045(540)2368  
発行責任者 会長 宮田 光明

## こんにちは民生委員・児童委員です 広げよう 地域に根ざした 思いやり

### 高齢者の方へ

ひとり暮らしの方、高齢者世帯の方、介護保険サービスを受けたいと考えている方、心配事や相談事、なんでも結構です。お気軽にご相談ください。

### 子どもの事で

赤ちゃん会や子育てサロンなどにかかわっています。また子育て不安や、いじめ、登校拒否、児童虐待などのご相談をお受けします。

### 障害のある方へ

お困りのこと、援助を必要とすることはありませんか。地域の支援を行政と連携して行っています。

プライバシーは守ります。  
民生委員・児童委員は法律で  
守秘義務が課せられています。  
安心してご相談ください。

### 生活に困った時

困窮の実情に応じ、生活福祉資金などの公的貸付制度や生活保護についてご案内します。

### その他

母子福祉や配偶者からの暴力(DV)など、困ったことがあれば、深刻な状況になる前にまずご連絡ください。

まちの福祉のために活動しています。私達に気軽に声をかけてください。

## 子ども虐待の現状と民生委員・児童委員・ 主任児童委員に求められる役割について

白鳥・秋本

### ～民生委員・児童委員全員研修会～



山梨県立大学西澤哲先生の研修です。講義の冒頭に「テーマにある役割とは何でしょうか？」から入られました。先生と同様、私達も疑問をなげかけたくなることです。

そして、子ども虐待に関する事例として、「①3才児の子どもが立って歩くことが出来ない。親が3ヶ月間おしめを取りかえず、その重さで立てなかったためである。」「②子どもに母乳・ミルクを与えず豆乳を与えていたため、3才児になっても身長が70cmしかなかった。」などを話されました。

虐待する親たちは、「子どもに暴力を振るいつつ、子どもを手放せない大人たち」であるが、「叩いて言うことを聞かせることによって、大人が何かを得ることはない。」、また、「虐待には、身体的虐待、ネグレクト、性的虐待、心理的虐待があり、児童相談所における相談件数は、平成10年から比較すると、10倍程になり、虐待されている子どもたちへの見守りを行うことが難しくなっている。」などを仰っていました。そして、「大事なことは、親子との信頼をもちつつ、見守りのための地域とのネットワーク作りをし、その活性化を図ることです。」と締めくくられました。

出席者の感想としては、①とても勉強になった、②少年たちの死亡事件を鑑みると、世相の実態がややこしくなった。③民生委員・児童委員の果たす役割についてさらに考えていけるとよい、という声がありました。

最後に、先生の講義を聞いたうえで、民生委員・児童委員の役割として何ができるかを考えたとき、関係機関との連携を密にして、子どものSOSを見落とさないことであると思いました。

## 港北ふるさとふれあいまつり

原田・牧野

### ～新横浜駅前公園野球場にて～

10月17日、朝から雨模様で、時には雨足が強くなったりと悪天候でしたが、そんな中、ふれあいまつりはスタートしました。

ぬかるんで足元の悪い所を、多くの方が早くから来場して下さいました。

ふれあい委員のメンバーは来られている方々に積極的に声をかけ、お菓子のレイを首にかけてあげた

り、ブースに来ていただいて魚釣りゲーム・ぬり絵・アンケートを実施しました。また、ティッシュ・ちらし等で日頃の活動をPRしました。

お昼前には雨も上がり、最後にはときどき太陽も覗くような空模様となりました。多くの皆さんの熱い思いが、雨雲を遠ざけたのでしょうか。

楽しくふれあいまつりは行われました。



# 地区からの紹介



## はじめての「にこにこ広場」in 宮前

日吉宮前地区 井上 清一

0、1、2歳の子どものふれあい、親子でリフレッシュということで、初めて企画されたイベントが「にこにこ広場」でした。私も初めての参加で不安でしたが、「くっくおさんぽ保育園」内のままごとコーナーの担当になりました。

大勢の子どもと一緒にいると自分の孫と遊んでいるようで、かわいくて時間が経つのを忘れてしまいました。「この地域にこんなに多くのお子さんがいるんだなあ。」とビックリしました。宮前独自のエプロンを着けてのお手伝いも好評で、あっという間の3時間。元気で遊んでいる子供達と会えて、楽しくて、来年もまた、成長したお子さん、新しいお子さんに会いたいと思います。



## 民生委員・児童委員になって

網島西地区 吉原 義一

私は網島に生まれ育って60余年が過ぎましたが、今まで地区社会の為に殆ど尽くしたことがありませんでした。そんな中、サラリーマン生活が終わりサンデー毎日の生活を日々過ごしておりましたが、当自治会の役員である先輩に「民生委員・児童委員をやってくれないか。」と言われ、平成25年12月に引き受けました。

この間、民生委員・児童委員として、特にこれはという仕事を行っていませんが、各種施設への見学、研修会等を度重ねるごとに、それを通じてもっと自身で前向きに任務に取り組む必要があるのではないかと感じてきている昨今です。

これからますます高齢者が増える中、民生委員・児童委員等以外の人々ももっと地域社会へのボランティア活動に参加することを期待します。



## 合同研修会

日吉本町地区 檜山 亜紀

日吉5地区が合同で行う研修会に、今年度は日吉台中学校校長、高橋秀吉氏を講師にお招きし、日吉地区センターにてお話を伺いました。



テーマは「子どもたちの現状と地域との連携について」。子どもたちの問題は我々大人がそうさせている、

全て大人の問題と捉える、という言葉が印象深かったです。子どものせいにはしない、子どもに興味を持ち、一緒に考えていくという姿勢の大切さを考えさせられました。そういった姿勢が子どもを守ることにつながるとのお話でした。

皆さん関心のあるテーマであったと思いますが、講師の話術のたくみさにあっという間の一時間半でした。

## かもめのつどい

大豆戸地区 中村登代子

毎月第3火曜日にミニデイサービスとして高齢の方を対象に行っております。今は民生委員・児童委員10名、ボランティア3名、盲導犬(訓練犬)1匹で活動しております。毎月行事は異なります。ちなみに7月は和太鼓に合わせて盆踊り、8月はハーモニカと一緒に歌い、9月は素敵なコーラスを聞き、マジックを見たり、X'masケーキを作ったり、もなかを作ったりと工夫をしています。1回だいたい20~30名の方がいらしてくれます。おやつを食べた後、ピアノの演奏で歌を歌って終わります。

毎月一人ひとりの元気な笑顔を見る度に、やっけて良かったなと思います。これからも皆でこの会を盛り上げて行きたいと思います。



# ほほえみ編集委員が

# 取材に行ってきました!



## 七夕飾りに夢中“1才2才3才児の会”

原田・秋本



6月19日(金)、小雨降る中、編集委員で大豆戸地域ケアプラザを訪問し、「1才2才3才児の会」の活動状況を見学しました。活動は毎月1回(8月、1月は休会)行われており、6月のテーマは「七夕飾り」です。ベビーカーに乗ってくる親子連れ、長靴を歩いてお母さんと歩いてくる子どもさん等、ニコニコ顔で受付をすまされていました。

部屋の中は、中央にはおもちゃ、積木等おかれ、小さくて作品が作れない子どもさんが民生委員・児童委員をはじめスタッフの方と遊びます。少し大き

い子どもさんは、壁側にテーブルと椅子が、そこで七夕に飾りのひこぼし・おり姫を折ってのりで台紙に貼っています。また、スタッフの方達が短冊に願いごとを書いたり、飾り用の物を手わけて作られていました。

ぐずっている幼児をあやしたり、ミルクを与えているスタッフは、優しいお婆ちゃんの顔になっていました。

この会の締めは「1匹の野ねずみ」の人形劇です。毎回子どもたちの目が輝いているとのこと。

笹は役員の方の家で取れたものだそうで、希望者は30cm位に切った物を帰りに1本もらって家で飾るそうでした。

家庭的で、手作り感の強い活動に感じられました。だれ1人として泣かずに親子仲良く時間が過ぎます。ほほえましい光景でした。帰るころは雨も止んでいました。

## 「すくすくハウス」におじゃまっぴ

石渡・牧野

7月24日(金)、朝から照りつける日射しに負けそうになりながらも綱島東地区の「すくすくハウス」にお邪魔しました。

参加する方が多いと聞きましたが、その通りで「満員御礼!」。0歳から未就園児の親子が暑い中、ぞくぞくと集まりました。会場はお母さんと子ども達の熱気で溢れていました。

暑い中多くの方々が集まってくるのは、お友達に会える楽しみもあるでしょうが、この場所の居心地が良いからでないでしょうか。

室内遊びとプール遊びがあり、子ども達が思い思いに遊び始めました。プールでは、笑ったり、ケンカしたりと子どもの世界が広がっています。牛乳パックの底に穴をあけて、手作りシャワーとして使用し、危険の少ないグッズに再利用されています。どの子も素敵な笑顔で楽しそうに遊んでいました。

ボランティアの方も毎回手伝いに来ているそうです。「一緒に遊べて楽しい。またお手伝いに来たい



です。」と話されているのが、印象的でした。

室内では、色々なおもちゃで楽しく仲良く遊んでいました。また、手遊び、ねずみの指人形、お誕生日のお子さんには足型をとったカードがプレゼントされていました。

地域の人と関わりながら、楽しい出会い、経験をしたりすることは、子育てをしていく上で、大切なことだと思います。一人ひとりの子どもの心の豊かさを育てていくことにつながると思います。一緒に楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

## 「ながよし」で日吉の歴史を懐かしむ

伊藤・横溝



日吉地区に「なかよしサロン」があります。港北区が推進する「ひっとプラン港北」の日吉地区での取り組みです。

このサロン名は隣の「中原」地区と「日吉」地区の中と吉を合わせて「なかよし」という名になったのだそうです。聞いた時ほっと心が温くなる名前です。

このサロンは、日吉地区の1つの町内会と2つの自治会、そして2つの婦人会と民生委員児童委員協議会の計6つの団体が持ち回りで毎月催しを開き、年齢性別を問わず地域の住民の方々楽しい集いと役立つ情報を提供しています。(毎月第3金曜日 1, 8月は休みの年10回)

ほほえみ取材班が訪ねたのは9月の会で、当番は日吉台町の自治会でした。『とうよこエリアの今昔』というタイトルで「写真で見る日吉の歴史」がスライドと話で綴られました。講師はこの分野の地元の専門家で『とうよこ沿線』をずっと編集して来られた岩田忠利氏で、大変興味深い写真とお話が1時間半以上にわたって人々を惹きつけました。この日は雨天で又平日の昼間であるのに関わらず、参加者は50名に迫っていました。

これまでの催しとしては、①エンディングノートの作り方、②コサージュ作り、③折り紙、④映画会、⑤着付け、⑥子ども達のための催し、などが実施されました。

このサロンがここまで充実した形になるまでには、関係者の方々のご努力があったようです。最初はお年寄りが集まっておしゃべりを楽しんでいるという会でしたが、それだけでは不足だということで様々な企画を練り、各団体の協力を得て現在のような形になったということです。地域での有意義な行事を考える上で大変参考になった訪問でした。

## 「いろえんぴつ」さんとともにアップルパイ作り

石渡・横溝

菊名地区民児協<sup>※</sup>では、障害者地域活動支援センター「いろえんぴつ」の職員さんの協力をいただいて、年一回、民生委員と障害者の方々と一緒に菓子作りをしています。

この取り組みは平成21年頃から始まったもので、最初は廃油を利用して石けん作り、その後は布ぞうりや牛乳パックのクラフトボックスなどを作ってきました。最近ではオレンジピール、マドレーヌ、クッキーなどを作っています。

昨年はアップルパイ作りで、冷凍のパイ生地を使用し、フォークで穴を開けた生地に事前に準備されたアップルを包む作業を行いました。自分で作った物は印を付けて焼き、焼き上がったものをその場でみんなで食べました。

今回はじめて参加した民生委員からは、「普段接することがないので、最初はどうしたらよいのか分からなかったけれども、一緒にパイ作りをしていると心が和み、楽しい交流の場となりました」との話



がありました。「焼き上がったアップルパイを大喜びで食べてくれたことが何より嬉しかった」そうです。出来上がった時の笑顔が目に見えそうです。

※民児協：民生委員児童委員協議会



# 地区からの紹介



## 町内会とのかかわり

樽町地区 高木 利三

8年前より、在中のマンション管理組合から町会の評議員に選出されました。町会の会合、催しに参加する機会が多くなり、その関係から町会長より民生委員・児童委員の話があり、受ける事にしました。受け持ちの高齢者やひとり暮らしの高齢者訪問は要領がわからないので戸惑いが有りましたが、電話連絡と訪問を重ねていくと、少しずつ会話が進む様になり、相手から受け入れてもらえる事がわかり楽になりました。

現在、町内の保育園に係わって、入・卒園式、会合等に参加しています。園児、御両親、先生方の事も少しわかる様になりました。民生委員・児童委員として係わる中で、高齢者の方々の様子や保育園の様子を町内会の方々にインフォメーションして行きます。



## 「しのはランド」こもれびの郷のクリスマス会

篠原南地区 塚脇由美子

「しのはランド」では、「こもれびの郷」という介護施設でのクリスマス会に毎年おじゃまし、利用者の方と近隣子ども達との「楽しい異世代交流のひと時」を過ごしています。



当日は、X'masの飾りに囲まれ、私達、しのはランドメンバーも、頭にはサンタの帽子、お揃いのセーターにお揃いのお飾りで身をつつみ、会場の雰囲気盛り上げます。昨年は、地域の方のギター、ハーモニカと私達のミュージックベルとでコラボ演奏を披露しました。クリスマスソングから始まり、懐かしのメロディー「ふるさと」などを皆で歌いながら、和やかな楽しい時間を持つことができました。これからも、このような交流を続けていきたいと思ひます。

## 高齢者が元気な町大倉山

大倉山地区 桑原 孝



大倉山地区社会福祉協議会高齢者部会では毎年6月と11月に70才以上の一人暮らしの方をお招きしてお茶とお話の会を開きます。

軽食やお汁粉を食べながら歓談したあと、アコーディオン、尺八、お箏などの演奏で懐かしい歌を唄い、最後は健康講話と体操で締めくくります。

さらに年に5回、日中を一人でもたはご夫婦だけで過ごされる高齢者の方をお招きして「太尾フレンドサロン・いこい」を開催します。このサロンでは、はがき絵講習、布草履作り、気功体操、クリスマスリース作り、写経などを楽しんで頂いています。「元気の秘訣は出かけることとおしゃべりすること」を合言葉に、皆さまに楽しいひと時をお過ごし頂いています。

## 「おおきなあれ」

城郷地区 中山千加子

未就園児を対象にした子育てサロン「おおきなあれ」を、3カ所（岸根・鳥山・小机）で、月1回午前10時～11時半に、各地区の担当がローテーションを組んで行っています。前半は玩具などで自由に遊び、後半は絵本の読み聞かせやシアターなどをボランティアの方たちが行ってくれます。夏はプール遊び、12月のXマスイベントでは男性民生委員・児童委員がサンタになります。子供たちは、個性豊かで可愛くて、見ているだけでこちらも笑顔になります。また、お母さん同士が仲良く話をして



## ふれあい動物園がやってきた!!

新吉田地区 宮田 房子

雨模様の朝、実行委員達がやきもきする中、第5回ふれあい動物園が開催されました。

日頃から動物のふれあいが少なくなった事で始まった移動動物園。新吉田地区もマンションが建ち並び、若い世代の方と地元の人が地域の行事に参加する交流の場が増え、子育て支援や地域交流の良い機会となっています。



今回は朝の雨で出足が遅れましたが、民生委員・児童委員をはじめ各種団体と新田中学のボランティアさん

らの応援もあり、1500名の来場者に楽しんでもらう事ができました。特にポニーの乗馬券とえさの購入者が参加できるくじ引きは、毎回長い列ができ大好評です。また、人気のひよこやうさぎのサークルの中は、なかなかふれあう機会の少ない小動物をひざに乗せ撫でる姿の笑顔であふれかえていました。相手が動物だけに、噛まれたりする事が一番心配でしたが、ボランティアの方の気配りもあり、無事閉会する事ができました。お疲れ様でした。

## 自分らしく暮らし続けるために

高田地区 矢野 泰秀

私達の地区では7月の定例会を利用し、「地区ケアマネ連絡会」を開きました。民生委員・児童委員ケアマネジャーに加え、<sup>\*</sup>区社協、地域ケアプラザにも参加を頂き、互いの活動をより知り合おうと各々の活動が報告されました。参加者が50名を越し、時間の関係から意見交換は次回以降となりましたが、Q&Aも含めあつという間に時間が過ぎ去りました。個別支援と包括的支援の融合について考える良いきっかけ作りでした。民生委員・児童委員2年生として少し知識が増えたと感じると共に、少子高齢化が高速で進むなか、地域でお互いがどのように連携し、協力し合って行けば地域で生活される方々がより「自分らしく暮らし続けて行けるのか。」を考え続ける良い機会となりました。



※区社協：港北区社会福祉協議会

## ? 介護保険のは・て・な

伊藤・白鳥

高齢者の介護を社会全体で支えあう「介護保険制度」が始まって15年経ちました。

サービスを受けるためには、区役所・地域ケアプラザなどに申請し、要介護認定を受ける必要があります。ご存知のように、ご本人のご要望があれば、申請の代行等について民生委員・児童委員もお手伝いいたします。

平成27年4月から制度が一部変わり、変わった点を調べてみました。以下のとおりです。

- ①65歳以上の市民の方に課せられる介護保険の保険料が増額されました。
- ②一定以上の所得がある人の利用者負担が変わりました。これまでは一律1割負担でしたが、27年8月より本人の合計所得金額が一定額以上の人は、2割負担が導入されました。

③27年8月より預貯金などの資産が一定以上ある人への部屋代及び食費の自己負担軽減基準が変わりました。自己負担額が各自の資産により差異が生じています。

④特別養護老人ホーム入所資格が変わりました。入所申し込みができる資格が、以前の要介護1から、今後は原則要介護3以上に変更になりました。

⑤平成28年1月から要支援1・2の方の訪問介護と通所介護が変わります。今後、既存のサービスに加えて、NPO・ボランティアなどの多様な主体がサービスを提供できるようになります。(本格実施は29年4月からの予定です。)



# 主任児童委員より



篠原北地区 主任児童委員 吉田 典子・依田 和子

主任児童委員連絡会では、毎月連絡会議を開催しています。

連絡会議や研修会、イベントを通して得た知識や経験を、地域の子供たちのために活用していきたいと思えます。

### ◆年一度ずつ、各先生方と現場の情報を交換・共有

#### ◎ 公立保育園園長先生 (7月)

紙おむつは1日交換しないで大丈夫だと思っている、トイレトレーニングは保育園でしてもらえると知っているなど、最近の保護者の育児についてお話をお聞きしました。世代の格差を感じる部分もありました。

#### ◎ 小学校児童支援専任教諭 (9月)

#### 中学校生徒指導専任教諭 (10月)

朝ご飯を食べてこない、塾やゲームで睡眠時間が短く授業中にあくびをしていたり寝てしまう児童生徒が多数いる、SNSなどネットのトラブルが増えているなど、子どもたちの抱える問題が増えている現状についてお話がありました。

### ◆こんなテーマで研修を行っています

#### ◎ 外国籍・外国につながる児童・家庭への支援 (4月)

港北国際交流ラウンジにて、土曜の午後で開催している外国人の小中学生のための学習支援教室「ニューカマー子どもの教室」の方に、「外国籍・外国につながる児童・家庭への支援」についてお話を伺いました。保護者の就労などで来日し、日本語を話すことのできない子ども達への支援についての難しさを感じた研修でした。

#### ◎ 『誕生学』 (5月)

誕生学協会認定パースコーディネーター宗藤先生から、最近の子育てについてお話を伺いました。子供はもちろん大人たちも、自分の生命の『誕生』を再認識することで命の尊さを感じ自己肯定感を少しずつ強くしていく、その中で自分の事も他人の事も大切にする、いじめや自殺、虐待のない社会の実現を目指すというものでした。



## 担当の民生委員・児童委員、主任児童委員に相談するには…

福祉保健センター福祉保健課運営企画係で地域の民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介しています。  
※相談内容によっては、他の専門機関を紹介します。

港北区福祉保健課運営企画係 電話 540-2339

## ◆平成28年には一斉改選があります◆

民生委員・児童委員、主任児童委員が、厚生労働省から委嘱される任期は3年間で、平成28年12月1日に新たに改選されます。

推薦の主体は町内会、自治会、連合町内会となります。

## 編集後記

第22号、23号とも、従来の紙面内容を一部変更してみました。編集委員が現地を訪問しての取材記事と、「いまさら聞けない」テーマを「はてな」で解説しました。

ご感想は？

訪問先での丁寧な対応に感謝します。

あっという間の任期3年でした。(K.H)

編集委員 (◎は委員長)

◎白鳥千代子(日吉本町)・石渡小夜子(網島西)・牧野典子(大曽根)・横溝 明(樽)・原田克己(大豆戸)・伊藤裕子(篠原北)・秋本節子(大倉山)

楽しい出会いをありがとう！  
一生涯、勉強頑張ります(^^)!

和顔愛語。

心機一転。

みなさん  
素敵な夢を  
叶えましょう♡

ありがとう！  
感謝！！

平常心。

為せば成る。何事も…

広報をつくる人らの輪は優し  
そのタイトルのほほえみのこと